

「令和7年度みやぎの青少年意見募集事業」意見交換会開催

青少年の社会参画への関心を高め、地域で主体的に活躍できる人材を育成するとともに、青少年の視点や意見を県政に反映させることを目的として、青少年と県職員による意見交換会を開催します。
報道機関の皆様におかれましては、ぜひ取材してくださるようお願いします。

記

- 1 日時 令和7年11月5日（水）午後2時から午後4時まで
- 2 会場 宮城県庁 第一会議室（9階）
- 3 参加者 青少年18人（中学生7人、高校生7人、大学生以上4人）、テーマ担当課職員
- 4 内容 2つのグループに分かれ、下記テーマについて意見交換を行います。

（1）若い世代の「居場所」について（子育て社会推進課）

どんな場所が自分自身にとって「居場所」であるかは一人ひとりによって異なります。県が居場所づくりのための取組を検討するために、若い世代の方々から意見を聴きます。

（2）児童福祉（特に児童養護）に関する若者の理解促進について（子ども・家庭支援課）

支援が必要な子どもが増えている一方で、児童養護施設では人材が不足しており、施設のことを理解して働く方が必要です。どのような取組をすれば若者の理解が進むか、若い世代の方々から意見を聴きます。

【参考】過年度の意見の活用例

テーマ	青少年の意見	意見の活用
ジェンダー平等への取組推進について	世代や職業に関係なく、ジェンダー平等の理解が必要。	セミナー開催時、受講対象者に民間企業を加え、広く県民に啓発するよう取り組んだ。
犯罪防止の啓発について	チラシやポスターは、イラスト等で分かりやすくするといい。	県内の高校と共同でチラシ・ポスターを作成した。
イベントの周知と参加促進について	学校と協力することで、生徒にイベントについて調べてもらえる。	地元中高生に式典補助員の協力や、アトラクションへの出演をしてもらった。